

各位

会社名 株式会社KHC
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 喜夫
 (コード番号: 1451 東証第二部)
 問合せ先 取締役経営企画部長 青木 渉
 (TEL. 078-929-8315)

株式会社勝美住宅が注文住宅の全商品においてZEH（ゼッチ）仕様を標準化
 脱炭素社会の実現に向けたZEHの普及拡大による温室効果ガス排出量の削減に貢献

当社グループの株式会社勝美住宅（所在地：兵庫県明石市、代表取締役社長：渡辺喜夫、以下「勝美住宅」という。）は、2021年10月1日より、注文住宅の全商品において、ZEH仕様を標準化いたします。（※）

ZEHとは、「Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」の略で、使用するエネルギーを断熱・省エネ・創エネにより実質ゼロ以下にする住宅（下図をご参照）のことを言います。

わが国では、政府が「エネルギー基本計画」（2018年7月閣議決定）において、「2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指す。」とする政策目標を掲げ、戸建住宅におけるZEHロードマップを策定いたしました。さらに、2020年10月、国際的に脱炭素化の機運が高まる中、政府は「2050年カーボンニュートラル宣言」により、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、同年12月には、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を「経済と環境の好循環」に繋げるための産業政策として「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が発表されました。

これらZEHを取り巻く状況において、近年では、消費者の省エネ志向の高まりや、住宅業界各社の取り組み強化により、ZEHの導入は着実に増加しているものの、政策目標の達成には更なる努力が必要となっています。

勝美住宅におきましては、より快適・より経済的な暮らしを実現するZEH仕様のご提案により、環境に配慮した省エネ住宅の提供を拡大することで、ZEHの普及拡大による温室効果ガス排出量の削減に貢献するなど、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推し進めてまいります。

（※）建築地の条件や屋根の形状等により、一定の太陽光発電が得られない場合を除きます。

以上

ZEHのイメージ図

※ZEHは、以下の高断熱・省エネ・創エネの3つを満たす必要がある。

